

大谷學報

第93巻 第2号

2014年3月18日発行

死について……………池上哲司 (1)	久多の木造五輪塔……………宮崎健司 (24)	二〇一三年度 研究発表会 発表要旨…………… (43)	彙報…………… (52)	学位論文審査要旨…………… (37)	保育所における社会的養護機能の再検討……………黒澤祐介 (24)	小学校社会科における問題解決学習……………高山芳治 (1)	——永田時雄の「西陣織」(小5)の分析と考察——
--------------------	------------------------	-----------------------------	--------------	--------------------	----------------------------------	-------------------------------	--------------------------

大谷大学
大谷学会

大谷学報

第九十三巻
第二号

二〇一四年三月十八日発行

第三四〇号

THE OTANI GAKUHO

(THE JOURNAL OF
BUDDHIST STUDIES AND HUMANITIES)

CONTENTS

Articles:

On The Unit “Nishijin-ori” (Tokio NAGATA)
——An Detailed Analysis of the Problem-Solving Unit——
…………… TAKAYAMA Yoshiharu (1)

Re-examination of the Social Care for Children in Nursery Schools
…………… KUROSAWA Yusuke (24)

Examination Report of Theses Presented
for the Degree of Doctor of Literature …………… (37)

Résumés of Papers Presented at the Otani Society
Annual Meeting 2013 …………… (43)

Articles:

On the Wooden *Gorinto* Pagoda of Kuta [Sakyo Ward, Kyoto City]
…………… MIYAZAKI Kenji (24)

Tod und Person …………… IKEGAMI Tetsuji (1)

Reports

PUBLISHED FOR THE OTANI SOCIETY
OTANI UNIVERSITY
KYOTO, JAPAN

浄土真宗の建学精神…………… 川村覚昭

—— 真宗教育の可能性 ——

金代における宗室と佛教…………… 桂華淳祥

隋仁寿舍利塔事業の基礎的考察…………… 今西智久

—— 「勅使大徳」と起塔地をめぐる ——

彙報

学位論文審査要旨

二〇一二年度 研究発表会 発表要旨

コミュニティソーシャルワークにおける

コミュニティ概念…………… 黒澤祐介

「愛」についてのジャック・ラカンの

二つの定型表現…………… 番場 寛

プラグマティズムと科学・宗教…………… 林 研

—— ウィリアム・ジェイムズの真理観 ——

二〇一三年度

春季公開講演会「決断と行動」講演録

ドラマを始める…………… 門脇 健

—— ヘーゲルの観たハムレット ——

「正義」の仮面に隠された怒りと羨望 片田珠美

二〇一二年度

修士論文・卒業論文・卒業研究題目一覧

彙報

学位論文審査要旨

仏教保育からの環境デザイン試論…………… 富岡量秀

—— 襖・障子が織り成す「間」からの視座 ——

喪失と悲嘆…………… 佐賀枝夏文

—— 悲しみのはたらき ——

大谷学会規程

第1条 (設置) 大谷大学（大谷大学大学院、大谷大学短期大学部を含む。以下「本学」という。）に大谷学会（以下「本会」という。）を置く。

第2条 (目的) 本会は、本学の学術研究の推進と、その成果の公開を目的とする。

第3条 (事業) 本会は前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

(1) 「大谷学報」の発行
(2) 「大谷大学研究年報」の発行
(3) 研究会及び公開講演会の開催
(4) その他必要な事業

第4条 (会員) 本会は本学の教育職員（専任職員及び契約職員）及び学生をもって会員とする。
2 前項のほか、本会の趣旨に賛同し、役員会において承認された者は、会員となることができる。

第5条 (役員) 本会に次の役員を置く。

(1) 会長
(2) 副会長
(3) 委員
(4) 監事
第6条 会長には大谷大学長が当たり、本会を代表する。
第6条の2 副会長には学監・副学長が当たり、会務を統理する。

第7条 副会長は、第3条第1号及び第2号の編集兼発行者となる。
委員は10名とし、教授会において互選

する。
2 委員は、企画、編集、出版等の会務に当たる。
3 委員の任期は、2年とする。ただし、再任をさまたげない。
第7条の2 会務を円滑に遂行するため、庶務を置くことができる。
2 庶務は本会委員の中から会長が委嘱する。
第8条 監事は、2名とし、教授会において互選する。任期は2年とする。
2 監事は、本会の会計を監査する。

第9条 (研究発表等) 会員は、本会の出版物にその研究を発表し、「大谷学報」及び「大谷大学研究年報」の配布を受け、本会主催の会合に出席することができる。

第10条 (会費) 会員の会費は、年額四〇〇〇円とする。ただし、学生会員は二〇〇〇円とする。
第11条 (運営経費) 本会の経費は、会費をもってこれに当てる。
2 本会の必要経費については、助成金を受けることができる。

第12条 (事務所管) 本会の事務は、教育研究支援部教育研究支援課の所管とする。
第13条 (規程改正) この規程の改正には、教授会の議を経なければならない。
付 則 1 この規程は、一九八一年四月一日から施行する。
2 一九六二年四月一日施行の「大谷学会会則」はこれを廃止する。

（大谷学会委員）
阿部 利洋 加藤 丈雄
東館 紹治 ダシユシヨバラニ
山内 清郎 三木 彰円
采翠 晃 山本 貴子
渡部 洋

大谷学報第九十三巻第二号
平成二十六年（二〇一四）年三月十八日発行

編集兼 大谷学会
発行者 水 島 見 一
発行所 大 谷 学 会

〒六〇三八四三 京都市北区小山上総町
大谷大学内
☎（〇七五）四一・一八・一五八
振替 〇一〇四〇七一八三九三番
印刷者 中 西 隆 太 郎